

まちかど アルバム



因州和紙の魅力を体感

鳥取県民体育館

1月6日（火）、鳥取県民体育館で「書初め大会」が行われました。これは、書道用紙として全国的に有名な因州和紙の魅力を地元の人にも知ってもらおうと、鳥取県因州和紙協同組合などが企画したもので、今回で4回目。参加者が見守る中、鳥取書道連盟会長の柴山抱海（しばやまほうかい）さんが、幅4メートル、長さ7メートルの和紙に「平和な光」という意味で「和光」という字を豪快に書き上げると、会場は大きな歓声に包まれました。

牛への感謝をもちに込めて

気高町姫路地区

気高町の姫路地区では、毎年旧暦11月の申（さる）の日に、牛の舌に似た細長いもちを神社に奉納して牛に感謝する「牛の舌祭り」が行われます。これは、室町時代から続くといわれる民俗行事で、前日には子どもたちがもちで牛の舌を作ります。昨年は、12月21日（日）が祭りの前日。宮司が「藁（わら）すべ」の根本を口にくわえ、穂先を輪にしてもちを次々切り出していくと、子どもたちは先を争うようにして、もちを青竹で伸ばし、舌の形に仕上げていました。



ピラティスでしなやかなカラダに

福部小学校体育館

元旦に、福部小学校体育館でピラティス教室が開催されました。ピラティスとは、深く呼吸しながら体の中心となる骨盤周辺や腹筋、背筋などの筋肉を整えるエクササイズのことです。講師は、東京でインストラクターを務める出井和也（いでいかずや）さん。参加者は、呼吸と筋肉の動きを確かめながら、ゆっくりと体を動かしました。とってもしなやかな体になりそうですね。

お抹茶でホッと一服

用瀬小学校

1月6日（火）、用瀬小学校で「お茶の会」が開かれ、冬休み中の児童ら約140人がお茶の世界を楽しみました。これは、寒い時期、家にこもりがちな子どもたちに会場に集まってもらい、お茶を通じて礼儀作法を学んでもらおうと、もちがせ子ども教室実行委員会と家庭教育相談員の会が企画したものです。子どもたちは、苦い抹茶より甘い和菓子のほうが好みでした。





雪の若桜街道で年越しイベント

若桜街道

「2009 きなせ TOTTORI ! 初夢ロード」が太みそから元旦にかけて、若桜街道で開催されました。歩行者天国となった若桜街道には、雪の中、市民約3千人が繰り出し、今回で4回目となる年越しイベントを楽しみました。昨年の「鳥取しゃんしゃん祭」で準グランプリに輝いた「姉妹連」も、元気いっぱいの「しゃんしゃん傘踊り」を披露。1年の始まりを盛り上げました。

土器作りに挑戦

青谷小学校南校舎

12月22日(月)、青谷小学校の5年生が、総合学習の一環として土器作りに挑戦しました。土器のもとになる粘土は、焼いたとき割れないよう砂を混ぜながらこねますが、実はこの作業が一番大変。砂が均一に混ざるよう、子どもたちは精いっぱい力で粘土をこねました。思い思いの形に仕上げた作品は、充分乾燥させ、2月ごろには「焼き」の工程に入るとのこと。完成が楽しみです。



お正月飾りを作ろう

佐治町中央公民館

お正月に向けたフラワーアレンジメント教室が12月20日(土)、佐治町中央公民館で開催されました。参加者は、講師の真先信男まさきののぶおさんに「葉ボタンを手前に、松は中心に高く」と指導を受けながら、竹の器に若松の枝や葉ボタン、千両などの正月花を思い思いにアレンジ。完成後は、各家庭の玄関や床の間を飾りました。

元気よく 歌声合わせて

河原町中央公民館

河原町中央公民館で12月14日(日)、河原町民合唱団つゆきふさこ(露木房子団長)の「第10回定期演奏会」が開催されました。河原町に音楽を根付かせようと、平成9年に結成された同合唱団。記念すべき10回目の演奏会では、初めての試みとして、河原幼稚園の子どもたちがゲスト出演。会場に響きわたる元気な声で、童謡「チューリップ」や「おもちゃのチャチャチャ」などを歌って、演奏会を盛り上げました。



走って新年の健康を祈願！

鹿野町

元旦の鹿野町で、毎年恒例となった正月マラソンが開催されました。120人の参加者は、全員で準備運動を行った後、発着点の国民宿舎「山紫苑」をスタート。加知弥神社でお参りした後、それぞれのペースでゴールを目指しました。この日は、スタート直後に雪が降り始めたため、ゴールする頃にはみなさん雪まみれに…。ボランティアが振る舞う豚汁で冷えた体を温めました。